

生涯学習センター中央会館（伊東図書館）の現況及び今後の可能性について

1. 概要

生涯学習センター中央会館（現図書館）は昭和55年11月に開館し、築45年を迎える施設で、**昨年末に外壁崩落事案が発生したほか、高い頻度での雨漏り、漏水による停電等の発生など**、老朽化が進んでいることに加え、**図書館利用者が閲覧できる開架スペースが十分でないほか、中高生の学習スペースや駐車場の不足、バリアフリーへの対応など**、敷地・建物条件により、解消されない課題も多くあることから安全性及びサービス向上の面から早急な対応が求められている。

建物は、地上4階建てで、1・2階部分が図書館、3・4階部分が生涯学習センターとなっており、建物西側には22台の駐車スペースを備えている。

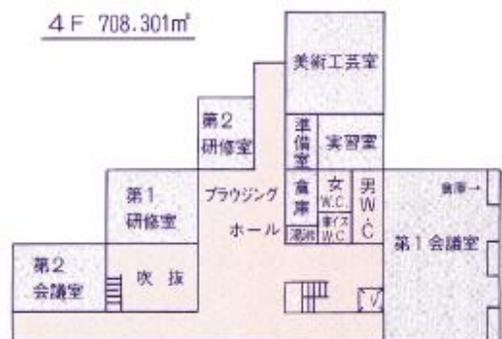
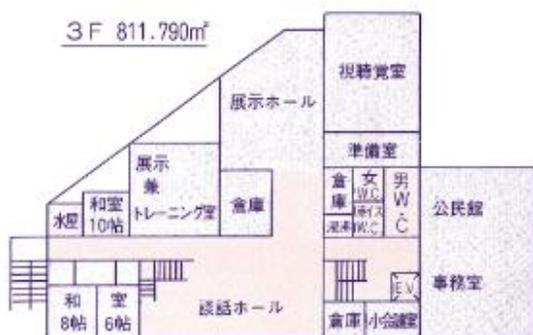
【生涯学習センター中央会館】

中央会館は、会議室や研修室、視聴覚室、トレーニング室等を備えた延床面積1,520㎡の施設である。

趣味講座や教養講座などの各種講座の開催のほか、学習に関する相談や資料及び情報提供、サークル活動への支援など、市民の学習、文化活動に関する様々な支援を行っている。



階	部屋名	収容人数	直近3年使用率	主な用途
4階	第1会議室	100人	43.5%	ダンス、太極拳、ヨガ、講座等
	第2会議室	30人	13.1%	会議、絵画（水彩画）等
	第1研究室	30人	23.7%	会議、工芸等
	第2研究室	20人	28.4%	工芸、俳句・短歌等
	美術工芸室	30人	10.6%	絵画（水彩画・油絵）、生け花等
3階	第1和室	6畳+8畳	5.9%	茶道等
	第2和室	10畳	4.7%	俳句・短歌等
	視聴覚室	50人	37.2%	音楽活動（合唱）、会議等
	展示兼トレーニング室	40人	30.6%	ダンス等



◆ 中央会館 年度別統計データ

年度	開館日数	利用回数	利用者数	1日の平均利用者数	備考
H30	306日	3,030回	30,136人	98人/日	
R1	306日	2,998回	26,356人	86人/日	
R2	314日	1,260回	12,208人	39人/日	コロナ禍：緊急事態宣言
R3	308日	1,351回	14,551人	47人/日	コロナ禍：緊急事態宣言
R4	308日	1,832回	22,253人	72人/日	コロナ禍
R5	309日	1,791回	21,435人	69人/日	
R6	226日	1,274回	14,650人	65人/日	外壁崩落：閉館12/19～3/31

減少傾向

コロナ前の利用状況には戻っていない

【伊東図書館】

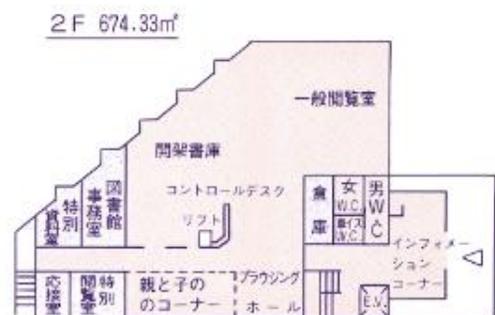
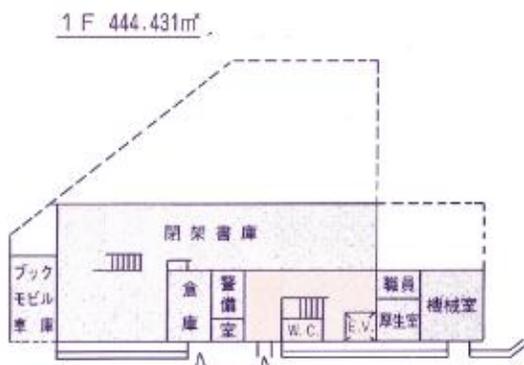
伊東図書館は954㎡で、1階は閉架書庫・移動図書館専用車庫・書庫で、2階は開架書架と閲覧スペースとし、81席の閲覧席を設置している。（蔵書数：185,215冊 ※R7.3.31現在、本館のみ）

「郷土資料コーナー」には伊東市出身の文学者「木下杢太郎」に関する資料や、「温泉」「火山」「地震」等の資料を重点的に収蔵している。児童向けにも「伊東の昔話」「民話集」など地域に伝わる伝承についての独自資料の収集を行っており、地域に根差した伊東市ならではの図書館サービスを行っている。

◆ 伊東図書館（本館）年度別統計データ

年度	開館日数	入館者数(延べ)	1日の平均入館者数	貸出人数(延べ)	1日の平均貸出人数	貸出冊数	1日の平均貸出冊数
H30	280日	データなし	データなし	52,997人	189人/日	178,815冊	639冊/日
R1	265日	データなし	データなし	48,546人	183人/日	164,895冊	622冊/日
R2	265日	68,856人	260人/日	40,101人	151人/日	146,074冊	551冊/日
R3	279日	78,792人	282人/日	43,869人	158人/日	160,641冊	576冊/日
R4	278日	78,037人	281人/日	41,801人	150人/日	152,849冊	550冊/日
R5	278日	83,018人	299人/日	40,452人	146人/日	147,523冊	531冊/日
R6※	255日	57,975人	307人/日	30,245人	119人/日	106,236冊	417冊/日

(※) 本館は休館中(12/19～3/31)だったが、予約貸出臨時窓口を1/7～健康福祉センターに設置しており、開館日数に含んでいる。臨時窓口を含まない場合は、開館日数は189日となる。



2. 過去の修繕状況等

直近では、令和6年12月18日に外壁の一部が崩落する事案が発生し、3月31日まで臨時休館とし、敷地内への立入りを禁止とした。

その間、南面（2階玄関側）、西面（駐車場側）、北面（職員入口側）を点検した後、修繕工事を実施した。既に工事等は完了し、通常通りの開館、運営を行っている。

※ なお、東面（裏庭側）は、足場の設置が困難な上、人の出入りも少ないことから施工していないため、現在も立入禁止としている。

また、12年前にも外壁が崩落する事案が発生しており、その際は、タイルが浮いている箇所にピンを打った上で、コーティング剤を塗ったが、令和6年度の崩落では、新図書館建設を見込んでいたため、コーティング処理は実施していない。



⇒前回の12年より短い期間での外壁崩落の危険性あり。



➤ 平成24年度 外壁タイル剥離防止工事（工事費：13,381,200円）

→ 工事内容：外壁北西南面のタイル剥離防止及び笠木補修等工事（コーティング剤を使用）

➤ 令和6年度 外壁ピンニング修繕及び防水工事（工事費・修繕費：11,816,750円）

→ 工事内容：外壁北西南面のタイル剥離防止工事（コーティング剤を未使用）

→ 予算の一部は、令和7年度に繰越している。（うち7,828,150円は7年度に支出）

◆ 生涯学習センター中央会館 過去の修繕状況

年度	支出済額	主な修繕内容
R1	123,806円	ドア錠交換、消防設備、空調設備、廊下防水、警報器、便所漏水、等
R2	563,200円	屋上漏電、便所詰まり、消防設備、高圧受変電設備、等
R3	229,900円	空調設備、消防設備、防水修繕、等
R4	569,283円	エレベーター、警報ブザー、照明器具、換気扇、等
R5	948,607円	消防設備、照明器具、機械設備、便所詰まり、等
R6	5,495,070円	外壁防水、障子張替、便所漏水、警報器、昇降機、ブレーカー、等

近年では、雨漏りが酷く、天井が剥がれており、漏電、停電も発生している。そのため、一部箇所については、ブレーカーを落としている。

雨漏りの修繕には、バルコニー上の花壇の撤去が必要だが、周辺道路の幅員の問題等で、高所作業車を停車するスペースの確保や木の伐採等が必要となる。

3. 運営上の望ましい基準及び同規模自治体等との比較

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）」の延床面積、蔵書冊数との比較では、下表のとおりほとんどの項目が望ましい基準を下回っている。1㎡当たりの冊数は193冊と望ましい基準を大きく上回り、館内は非常に窮屈な状態にある。

	人口	延床面積	蔵書冊数	うち開架	開架率	1㎡あたり冊数
現伊東図書館	63,974人	954㎡	183,982冊	75,082冊	40.8%	193冊/㎡
望ましい基準（～8万人）	67,298人	3,866㎡	374,144冊	230,263冊	61.5%	97冊/㎡
基準との差（～8万人）	▲3,324人	▲2,912㎡	▲188,929冊	▲166,791冊	▲27.0pt	97冊/㎡
望ましい基準（～6万人）	53,647人	3,762㎡	302,810冊	197,680冊	65.3%	80冊/㎡
基準との差（～6万人）	10,327人	▲2,808㎡	▲117,595冊	▲134,208冊	▲30.8pt	114冊/㎡

※伊東市の人口は令和7年3月末（外国人含む）、蔵書冊数は令和6年度実績

※望ましい基準の数値目標は「貸出密度上位の公立図書館整備状況・2019」（JLA図書館調査事業委員会）

※人口は各人口段階の対象市町村における平均人口、数値は「日本の図書館2019」による

4. 今後の可能性について（別紙比較表参照）

旧マンダリンホテル跡地への新築（さらにリサイズ）の可能性はなしとなったことから、今後の可能性としては、①移転（旧西小リノベーション）、②現施設の長寿命化の2パターンとなり、別紙比較表（A3）のとおり取りまとめた。

また、見積等を正式に取得した結果ではなく、特にリノベーションは建物の躯体の状況や用途変更による補強に係る経費、さらには整備する内容によりイニシャルコストの変動は大きいと思われる。